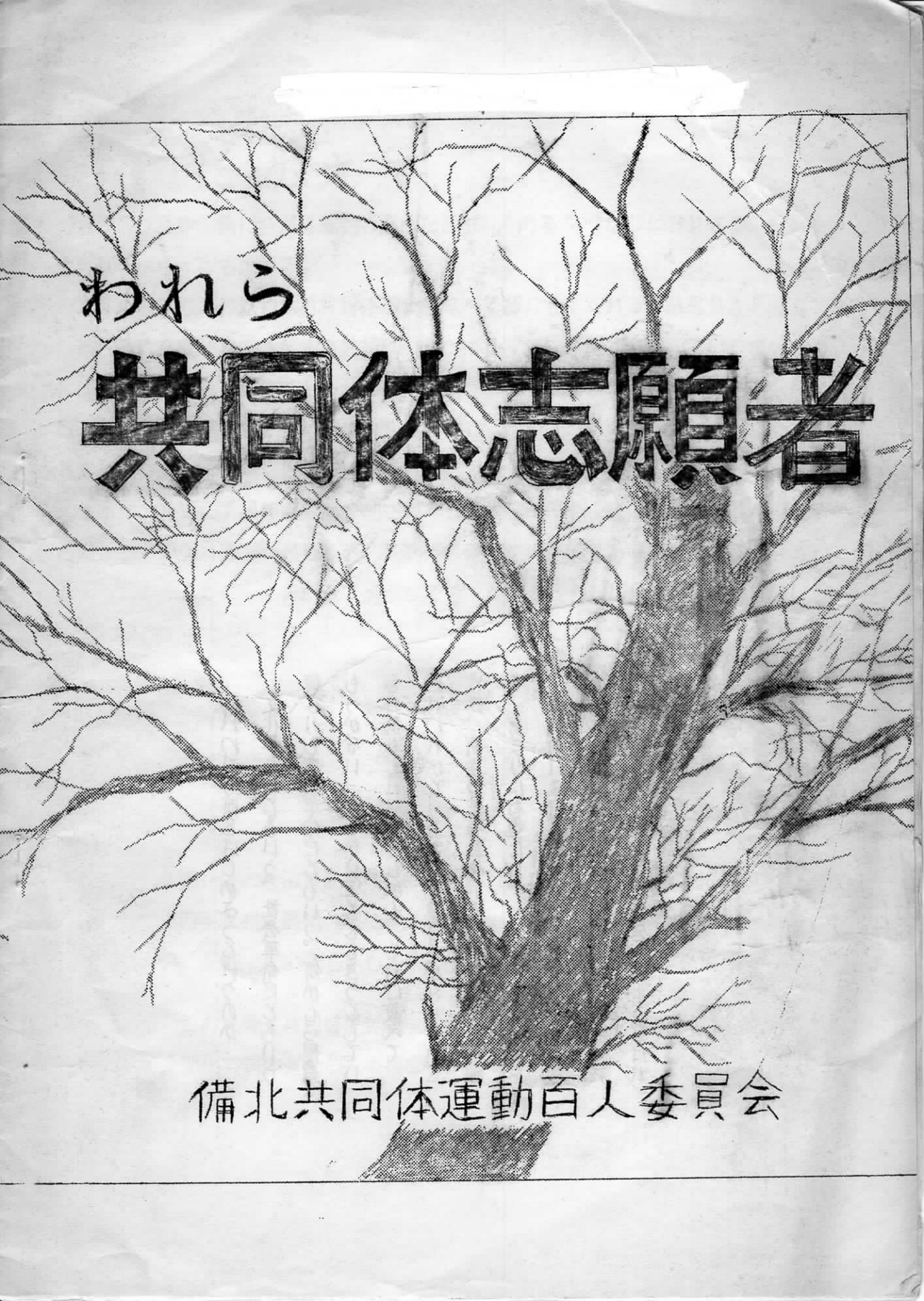




われら

共同体志願者

備北共同体運動百人委員会

われわれは何をはじめようというのか……

文化革命だともいう。社会革命だともいう。

何よりも意識革命だともいう。何かしら想像もつかない、どこかいことをしようとしているのかもしれない。しかし、それに較べて、

われわれがとりあえずしなければならぬことは、あまりにも具体的で、あまりにも些細で、あまりにも重たい。

われわれは、その重みに耐えながら、自らの内なる共同体の真姿を明らかにしつつ、共同体志願者としての才一步を踏み出さなければならぬ。

序にかえて

このパンフは、備北共同体運動とあなたとを結びつける「かけはじ」になればと、百人委員会の有志が作ったものです。

このパンフで、われわれの共同体運動をすべて紹介してくれるとは思いませんし、またわれわれの運動も まだその端緒についたばかりで、今後どうなっていくのか、あなたにとってどのような意味をもっていくのかは 不可視のものです。それはあなたに自身のこれからの共同体運動とのかかわりのなかで 少しずつその姿を現わしてくることでしょう。

また、直接に共同体運動に参加されることがなくても、共同体の精神と理想を常に心のどこかに抱いておかれるとき、共同体は何らかの影響をあなたに与え続けることでしょう。そのことに このパンフが少しでも 貢献できることを 願っています。



備北で 産ぶ声をあげた われわれの共同体運動は、今や 鳥根県の弥栄村に最初の根拠地を構築し、いよいよ終りのない共同体への「長征」に出発しました。

この 備北共同体運動を 持続・展開する運動主体として、
「備北共同体運動百人委員会」があります。

百人委とは何か

その考え方と活動

「備北共同体運動百人委員会」は、備北共同体運動の意味を認める個人、弥栄之郷共同体と部分的・全体的に関わりをもつ個人、自らの共同体運動に備北共同体運動との連合の視点をもって活動する個人が、それぞれの関わり方で参加する、組織でない組織です。組織としてのいっさいの強制はなく、自発的な個人の部分的・個性的な参加・活動によって、創っていくものです。

百人委員会は、共同体運動の展開のための具体的行動を組織・運営する実行委員会を必要に応じ組織し、労力キャンプの計画・生産物の販売・経済的援助等の面において、弥栄之郷共同体との関わりを追求しつつ、さらなる共同体運動の発展のために、オニ・オミの共同体を都市に農村に創出すべく運動します。

百人委員会は、それを構成する全てのメンバーの意見・情報をできるかぎり吸収し、それを全員のものにするための出版・理論活動も行ないます。

Ⅰ. 備北百人委員会は、委員会の機関紙・連絡紙として月一回の「備北だより」の発行、百人委員会内報として「起て！寝る牛よ」を不定期発行、さらには共同体運動に関するさまざまなパンフ類の発行等の出版活動をしています。

「備北だより」一部50円、「起て！寝る牛よ」郵送料のみ、パンフ「現代暴力論」向井考 500円、「さらに深く：集団の意味を一サークル村宣言」谷川雁 50円、「人民公社」向井考 150円

また、百人委員会は共同体研究会や読書会等を時々につくり、共同体運動の理論活動および情宣活動を行ないます。

Ⅱ. キャンプ活動は百人委員会の運動のなかで、もっとも重要なものの一つです。キャンプは共同体が外に用かれる門戸となり、共同体が孤立化するのを避け、真に運動の中の根拠地として存在させようとするものです。

また、キャンプを通じて共同体の意味を情宣し、労力キャンプによって共同体

の労働力を獲得する。新しい仲間たちはこのキャンプを通じて共同体に近づいてきます。

キャンプによって共同体は、訓練の場ともなり、教育の場ともなり、生活や労働の場ともなり、何よりも自分を解放しなにか新たな力を得る場とならなければならないと考えています。

備北百人委員会は、

- ①労働力獲得を目的とした 労働キャンプ
- ②理論学習・討論を目的とした スタディ・キャンプ
- ③活動の技術訓練・技術獲得を目的とした トレーニング・キャンプ
- ④高校生や中学生のための 教育キャンプなどを行なっています。

③. 百人委員会は弥栄之郷共同体で収穫した農作物を販売したり、また販売のための市場調査をしています。

販売には ①地域生協、耘場生協、労働組合、病院等の団体、組織との〈契約販売〉 ②個別に家庭を回る〈訪問販売方式〉 ③定期的に開く〈青空市場〉がありますが、できるかぎり〈契約販売〉をとるようにし、〈訪問販売方式×青空

市場〉からの地域生協作り、消費者運動の展開を目指し、究極的には労働者と農民、都市と農村の強い連合の樹立とそれにもとづく反権力の闘争を展開しようとするものです。

④. 百人委員会は、弥栄之郷共同体の土地・建物・機械等のすべてを社会化(だれのものでもないように)するために、カンパ活動を行なっています。

共同体が共同体に住む者だけのものではなく、運動にかかわる者全員のものであり、ひいてはだれのものでもなくなるという共同体社会のあるべき姿に近づくためにも、この社会化の作業は、共同体運動にとってとっとも基本的で重要な行為であります。

カンパの形式には、①土地のみに関する 共同体地共有券(1口 2,000円—約30坪単位の共有運動)の販売 ②共同体運動全般に対する 定期カンパ(1口 毎月 500円) があります。

